

ボグリボース錠 0.2mg 「YD」 ボグリボース錠 0.3mg 「YD」

【この薬は？】

販売名	ボグリボース錠 0.2mg 「YD」 VOGLIBOSE TABLETS	ボグリボース錠 0.3mg 「YD」 VOGLIBOSE TABLETS
一般名	ボグリボース Voglibose	
含有量 (1錠中)	0.2mg	0.3mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、糖尿病食後過血糖改善剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、腸管でのブドウ糖の吸収を遅らせ、食後の血糖値が急激に上昇するのを抑えます。
- ・次の病気の人に処方されます。

○糖尿病の食後過血糖の改善

(ただし、食事療法・運動療法を行っている患者で十分な効果が得られない場合、又は食事療法・運動療法に加えて経口血糖降下剤若しくはインスリン製剤を使用している患者で十分な効果が得られない場合に限る)

○耐糖能異常における2型糖尿病の発症抑制(錠0.2mgのみ)

(ただし、食事療法・運動療法を十分に行っても改善されない場合に限る)

- ・この薬は、糖尿病治療及び糖尿病発症抑制の基本である食事療法、運動療法を十分に行ったうえで効果が不十分な場合に限り、医師の判断により処方されます。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・重いケトーシス状態（吐き気、甘酸っぱいにおいの息、深く大きい呼吸）の人、糖尿病性の昏睡状態の人、糖尿病性の昏睡状態になりそうな人
 - ・重い感染症にかかっている人、最近手術をした人、または手術の予定がある人、大きな怪我をしている人
 - ・過去にボグリボース錠「YD」に含まれる成分で過敏症のあった人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・過去に腹部を手術したり、腸閉塞になったことがある人
 - ・消化・吸収障害を伴った慢性腸疾患の人
 - ・ロエムヘルド症候群の人、重いヘルニア、大腸の狭窄（きょうさく）・潰瘍（かいよう）などがある人
 - ・腎臓に重篤な障害がある人
 - ・肝臓に重篤な障害がある人
 - ・妊婦または妊娠している可能性のある人
 - ・授乳中の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

〔糖尿病の食後過血糖の改善の場合〕

販売名	ボグリボース錠 0.2mg 「YD」	ボグリボース錠 0.3mg 「YD」
一回量	1回1錠	
飲む回数	1日3回毎食直前	

〔耐糖能異常における2型糖尿病の発症抑制の場合〕

販売名	ボグリボース錠 0.2mg 「YD」
一回量	1回1錠
飲む回数	1日3回毎食直前

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。飲み忘れたときは、1回とばして次の食事の直前に1回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

〔糖尿病の食後過血糖の改善の場合〕

- ・この薬を使用中は、定期的に血糖の検査が行われます。この薬を2～3ヵ月使用しても十分な効果が得られない場合は、より適切な治療へ変更されることがあります。

〔耐糖能異常における2型糖尿病の発症抑制の場合〕

- ・この薬を使用中は、1～3ヵ月毎を目安に血糖管理に関する検査が行われます。2型糖尿病と診断された場合は、より適切な治療へ変更されることがあります。

〔この薬を使用する全ての方に共通〕

- ・副作用として低血糖症状（お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下など）があります。このような症状が認められる場合は、ブドウ糖を飲んでください。この薬を使用するにあたっては、患者さんは、これらのことを十分に理解できるまで説明を受けてください。
- ・自動車の運転中や高所作業中などに低血糖をおこすと事故につながりますので、特に注意してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。





重大な副作用	主な自覚症状
低血糖 ていけつとう	お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下
腸閉塞 ちょうへいそく	便やおならが出にくい、吐き気、嘔吐、お腹が張る、腹痛
劇症肝炎 げきしょうかんえん	急な意識の低下、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）

重大な副作用	主な自覚症状
重篤な肝機能障害 じゅうとくなかんきのうしょうがい	体がだるい、吐き気、食欲不振、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）、意識の低下
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
意識障害を伴う高アンモニア血症 いしきしょうがいをともなうこうアンモニアけっしょう	物忘れをする、幻覚、訳が分からない行動をする、あばれる、意識の低下

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、疲れやすい、けいれん、体がかゆくなる、急激に体重が増える、体がだるい、あばれる
頭部	意識の低下、急な意識の低下、物忘れをする、訳が分からない行動をする
顔面	血の気が引く
眼	白目が黄色くなる、幻覚
口や喉	吐き気、嘔吐、血を吐く
腹部	お腹がすく、お腹が張る、腹痛、食欲不振
手・足	手足のふるえ
皮膚	皮膚が黄色くなる
便	便やおならが出にくい、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）
尿	尿の色が濃くなる

【この薬の形は？】

販売名	ボグリボース錠 0.2mg 「YD」	ボグリボース錠 0.3mg 「YD」
形状	割線入り素錠 	素錠 
	PTPシート 表面 裏面 	PTPシート 表面 裏面 
直径	7mm	8mm
厚さ	2.7mm	3.1mm
重さ	140mg	210mg
色	白色	白色

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ボグリボース錠 0.2mg 「YD」	ボグリボース錠 0.3mg 「YD」
有効成分	ボグリボース	
添加物	乳糖水和物、トウモロコシデンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸 Mg	

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：株式会社陽進堂 (<https://www.yoshindo.co.jp/>)

お客様相談室

電話：0120-647-734

受付時間：9時～17時

（土、日、祝日、その他当社の休業日を除く）